

## 第 8 章

# 廃 棄 物

## 第8章 廃棄物

### 1. ごみの状況

令和6年度のし尿を除く一般廃棄物の総排出量は18,263t（家庭系ごみ量14,406t・事業系ごみ量3,857t）で、家庭系ごみ量を市民1人1日あたりに換算すると約511gになります。

総排出量の家庭系ごみ量内訳を見ると、燃やすごみ量は11,351t（焼却残渣含む）、資源ごみ量は1,994t、粗大ごみ量は1,061tでした。（ごみ量は四捨五入）。

臨時ごみの申し込み件数は、377件でした。また、特別有料品目の持込みは87件でした。

戸別収集サービスでは、ホームヘルプサービスを利用されている1人暮らしで、自らごみを排出場所まで持つて行く事が困難な方向けのまごころダイレクト収集は137人その他プライバシー保護などが必要な方の在宅医療廃棄物の収集は11人が利用されました。

今後も、4Rの推進の啓発に取り組みつつ、廃棄物の適正な処分を進めてまいります。

#### (1) 収集と処理(一般家庭)

○燃やすごみは、週2回収集を行いました。

○ペットボトル・プラスチック製容器包装（以下「廃プラ」という。）は、週1回収集を行いました。

○蛍光灯、小型家電、使い捨てライター及び牛乳パックは、拠点回収を行いました。

○古紙（新聞・雑誌・ダンボール等）及び缶・ビン・乾電池の資源ごみは、令和2年度より月2回収集し、牛乳パックは、交野市日中活動系事業所連絡会で収集により、資源化しました。

○粗大ごみは無料のものと有料のものを併せて1世帯あたり月5点まで、電話申し込み等により戸別収集を行いました。

○燃やすごみ、粗大ごみから選別破碎した可燃物、中間処理施設（四交クリーンセンター・北河内4市リサイクルプラザ）のし渣・可燃残渣及びし尿処理施設のし渣・可燃残渣は、熱回収施設で焼却し、焼却灰は、大阪湾広域臨海整備センターで最終処分を行いました。

○資源ごみ及び粗大ごみは、中間処理施設で廃プラや金属類及びビン等に選別し、再生処理事業者で再資源化を行い、不燃残渣は、大阪湾広域臨海整備センターで最終処分を行いました。

#### ◆人口とごみ処理量の推移（燃やすごみには焼却し渣・可燃残渣を含む）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
人口（人）	77,243	77,229	77,239
燃やすごみ（t）	11,640	11,182	11,351
資源ごみ（t）	2,099	2,063	1,994
粗大ごみ（t）	1,064	1,066	1,061
事業系ごみ（t）	4,022	4,178	3,857
合 計（t）	18,825	18,489	18,263

※表の数値は端数処理を行っています。（人口は、各年度の3月31日時点）

## (2) 資源ごみの処理

○廃プラは、交野市・枚方市・寝屋川市・四條畷市で運営する北河内4市リサイクルプラザで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、再生処理事業者で、再資源化を行いました。

### ◆廃プラ・ペットボトルの処理量の推移

年 度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
ペットボトル (kg)	51,960	44,520	46,980
プラスチック製容器包装 (kg)	927,710	892,160	864,890
合 計 (kg)	979,670	936,680	911,870

○缶・ビンは四交クリーンセンターで資源ごみとして選別・圧縮梱包の中間処理を行ったほか、乾電池と拠点回収した蛍光灯は四交クリーンセンターで一時保管し、再生処理事業者で、再資源化を行いました。

### ◆缶・ビン・乾電池・蛍光灯の資源化量の推移

年 度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
アルミ缶 (kg)	47,368	47,118	45,800
スチール缶 (kg)	58,302	57,181	53,264
無色ビン (kg)	103,378	104,425	100,839
茶色ビン (kg)	80,655	83,984	85,678
その他ビン (kg)	68,750	65,636	61,140
乾電池 (kg)	18,740	20,000	16,030
蛍光灯 (kg)	7,290	5,360	4,280
合 計 (kg)	384,483	383,704	367,031

○古紙及び拠点回収した牛乳パック、ダンボール、小型家電は直接再生処理事業者で、再資源化を行いました。

### ◆古紙・牛乳パック・ダンボール・小型家電の量の推移

年 度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
古 紙 (kg)	642,302	633,350	639,330
牛乳パック (kg)	7,290	6,400	5,980
ダンボール (kg)	0	0	10
小型家電 (kg)	38,310	59,894	24,920
合 計 (kg)	687,902	699,644	670,240

## (3) 交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議（4R市民会議）

ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上と、良好な生活環境づくりを協議し、その実践活動を通して「環境にやさしい交野」の育成と4Rの推進に取り組む団体として、区長会を中心に組織され、「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱し、各地域でのごみの排出マナーや意識高揚の啓発活動を行っています。

### (主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) 使い捨てプラ削減キャンペーン

### 3) 広報等による啓発活動

#### ◆ 集団回収実態調査結果の推移

年 度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
古布・古着 (kg)	31,489	29,293	24,550
ダンボール (kg)	160,143	125,300	113,320
新聞・雑誌 (kg)	559,592	530,056	407,530
紙パック (kg)	3,296	2,155	2,076
アルミ缶 (kg)	18,668	17,258	12,780
スチール缶 (kg)	1,305	38	0
その他 (kg)	0	0	3,690
合 計 (kg)	774,493	704,100	563,946

#### (4) フードドライブ

ごみの発生抑制及び食ロスの削減に資する事業として、市民から寄付された食品等を子ども食堂などへ配布

するフードバンク事業者と連携協定を締結し、令和3年6月より受付業務を開始しました。

本市施設窓口6か所(環境事業課・本庁1階ロビー受付・福祉総務課・星田会館市民サービスコーナー・倉治図書館・社会教育課)で食品の寄付を受け付けを行っております。

令和6年4月1日より青年の家に新たに窓口を開設しました。

#### ◆ フードドライブ回収実績

年 度	協力者数 (人)	受付数量 (点)	受付総重量 (kg)
R4 年度	237	3,035	758.4
R5 年度	285	3,227	781.2
R6 年度	309	2,491	508.5

## 2. し尿の状況

し尿収集運搬業務は、計画的な収集日程に基づき、2ヶ月に3回、委託した4業者による収集を行いました。

公共下水道の整備地域につきましては、水洗化切り替えを進めています。

令和7年3月末現在、し尿汲み取り人口は475人(292世帯)で総人口に占める割合は0.6%、浄化槽人口は2,740人(1,212世帯)で総人口に占める割合は3.6%となっています。

#### ◆ し尿受入量の推移

年 度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
生し尿 (kL)	2,871.4	2,125.2	1,909.7
浄化槽汚泥 (kL)	2,815.1	2,485.1	3,112.9